

連携協議会の取組について

令和2年1月23日

北海道サイクルルート連携協議会アドバイザリー会議

連携協議会の取組について

○走行環境整備(路面表示・案内標識)

各道路管理者において北海道のサイクルツーリズム推進方針に基づく走行環境整備(路面表示・案内標識)を推進

○コンビニ連携

ルート沿線にコンビニが多く立地していることから、受入環境の向上(休憩施設、情報発信)に向けてコンビニ連携の体制構築を検討

○公共交通連携

JR駅・バスターミナルがゲートウェイに位置付けられているルートがあることから、公共交通機関(JRや高速バス)との連携を検討

○輸送連携

ゲートウェイ間の自転車や手荷物輸送サービスを検討

○駐車場連携

自家用車でルートを訪れる方へルート沿線の駐車場利用に向けて、公共駐車場利用の方法や駐車場情報の発信などを検討

○レンタルバイク

自転車を持たない来訪者へのサービスとして、e-bikeやレンタサイクルの乗り捨てサービス拡充に向けた事業連携を検討

○サイクルステーションの整備

サイクリング周遊拠点(交通拠点や休憩施設等)となるルート上の既存施設(公民館、寺社仏閣等)の状況調査を実施

○連携強化

農業体験とサイクリングをからめたガイドツアーを検討しているルート協議会もあることから、農業団体など多様な機関との連携強化やガイドツアーメニューなどを検討

○利用実態調査

各ルートの利用実態を把握し、取組効果の把握やサイクリング客数推計のための調査などを実施

○海外プロモーション

海外からの誘客にむけた海外現地プロモーション実施に向けた検討を実施